

2005年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験 第2次審査

試験問題

法律科目試験  
(商 法)

全問必答のこと。  
解答用紙は問題ごとに分かれているので、注意すること。

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 問題紙の本文は、1枚である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 解答用紙は、[1]が2枚1組、[2]が2枚1組の計4枚である。解答用紙の左上にそれぞれ問題番号が記載されているので、必ず対応する解答用紙に解答を記入すること。
4. 各解答用紙の右上に受験番号の記入欄がある。組になっている2枚目の解答用紙の受験番号欄にも受験番号を正確・明瞭に記入すること。
5. 解答は、黒色のペンまたは鉛筆で記入すること。
6. 試験開始後は、終了まで試験場から退出できない。
7. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示に従わない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させる。
8. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

2005年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験問題 法律科目試験

（商 法）

---

〔1〕株主の議決権について以下の問いに答えなさい。（解答用紙 商法〔1〕を必ず用いなさい）

- ① 株主総会において、議案の内容に関して会社の利益と対立する利害関係を有する株主が、その議案の決議に際して自己の議決権を行使することに対して、商法の定めはどうか。
- ② 株主間契約または定款の規定により、一株一議決権の原則に対する例外を定めた場合、その効力はどうか。

〔2〕以下の問いに答えなさい。（解答用紙 商法〔2〕を必ず用いなさい）

株式会社ジンゴローは、竹製品の製造・販売を事業目的とする。同社はここ数年業績不振が続き、昨年度の決算は債務超過であった。本年度に入ってから、工場の操業を停止し、直販店舗も閉鎖したままである。同社の経営陣は、同社がコンピュータ・グラフィックを用いた設計に事業の重点を移し、竹製品の製造・販売には直接従事しない方針をとることにした。土地・建物・機械設備など営業用固定資産の大部分が不要になるので、赤字状態から脱却するため、これらを一括して売却することにした。幸い、このような土地・建物を求めていたコタロー株式会社が、譲渡の時点におけるジンゴロー社の債務を引き受けた上、竹製品の製造・販売にかかる資産全部を、50万円の対価で買取ることを申し出た。ジンゴロー社の経営陣はこれを喜び、株主総会の決議を経ないまま、コタロー社との間で取引を完結させた。コタロー社もこの取引について株主総会の決議を経していない。コタロー社は、ジンゴロー社から譲り受けた土地・建物を使用し、アニメーション映画を制作している。

本件取引から3カ月後に、ジンゴロー社は、同じ資産を本件より高い対価で買取る意向を持つ会社があることを知り、コタロー社に対して本件取引が無効であると申し入れた。コタロー社はこれに反対している。

両社が裁判で争うことになった場合、あなたが裁判官であれば、どのような判決をするか。